# 「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

~宇城市立不知火中学校での実践~



## 【宇城教育事務所】

# 【講座のテーマ】 社会で求められる人になるために(ダイヤモンドランキング)

メイン活動 1 「アドジャント ークをしよう」 で楽しく会話を する生徒たち。 「夢中になって いることは…」





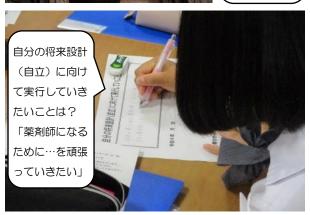
原田トレーナー の説明を聞きな がら、ランキン グを考える生徒 たち。「1番は 責任感、2番は 信頼性かな?」

「私は、コミュ ニケーション能 力が大切だと思 います。訳は… だからです。」 「なるほど。僕 とは違うな~」





「新卒採用に関するアンケート結果によると、 多様な人々と仕事をしていく中で、重要視したい力は…」



#### 【講座の日程等】

実施日:令和4年7月1日(金)

時 間:5校時(14:10~15:00)

場所:宇城市立不知火中学校

対 象:3年1組(31名)、3年2組(32名)、保護者

進行役:原田祐作トレーナー

宇城教育事務所 社会教育主事 藤本 三郎

#### 【本講座の説明】

まもなく大人になる中学生や高校生が、「大人になったとき」「親になったとき」に必要な『自立』と『コミュニケーション』をメインテーマにしたプログラムである。

生徒に「じりつ」(自立・自律)を促し、将来、大人になることについて学ぶ機会を提供するものである。

### 【プログラムの実際】

- ① アイスブレイク (頭の体操)
- ② 本日のプログラムの確認
  - キーワード~社会で求められる人になるために~
- ③ メイン活動1「アドジャントークをしよう」
- ④ メイン活動2「ダイヤモンドランキングを作成しよう」
  - ・個人でトップ3を作成して、グループで紹介し合う。
  - 全体でトップ3を紹介する。
- ⑤ メイン活動3「自分の生活を見つめよう」
  - これからの未来について見つめ、『求められる力』について知る。
  - 将来設計(自立)に向けて実行していくことを書く。
  - ・実行することを発表し、友達からサインをもらう。
  - ・全体で紹介する。
- ⑥ まとめをする。

#### 【「親の学び」プログラム次世代編アンケート(生徒)から】

- O ほとんどの生徒が「楽しかった」「今後の生活に役立つ 内容であった」と回答していた。
- <本講座を受講した生徒の感想>
- あまり人には言わない自分のことを話せ、友達のこと も聞けたのでよかった。
- これからの自分に何が必要か、どうしていくべきかを 考えることができてよかった。
- 今後の自分のことについて、計画が立てられていない ことに気づくことができた。
- 自分の将来に向けて、今日の学びを有言実行できるように意識していきたい。

#### 【参加された保護者の感想から】

- O 説明が分かりやすく、他の保護者の方とも話し合えた ので、とても楽しかった。
- 参加体験型の学習で退屈することなく参加できた。それぞれの価値観や考え方が違うことを知れてよかった。